

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第2回 所沢市地域公共交通会議
開 催 日 時	平成31年2月4日(月) 午後2時00分から午後3時50分まで
開 催 場 所	市庁舎低層棟3階 全員協議会室
出 席 者 の 氏 名	佐久間 修 井出 裕美 金子 明実 菅野 景子 鈴木 由紀子 山内 智矢 加藤 和伸 藤田 貢 尾崎 晴男 青木 宏之 川上 一人 秋田 博庸 嶋村 照明 畦地 英樹
欠 席 者 の 氏 名	一木 昭憲 小河 憲司 鶴岡 洋 宮原 良和 二上 清次
条例第7条に基づ く出席者の氏名	金川 新吾
議 題	1 開会 2 議事 (1) 所沢市の地域公共交通施策について (2) 新しい交通手段について (3) その他

<p>会 議 資 料</p>	<p>次第  資料 1 地域との協働による地域公共交通検討の趣旨  資料 2 小型車両を活用した交通手段比較表  資料 3 ダイアプラン公共交通部会について  保存版「ていーろーど」等の公共交通の再編  ところバス報告関連資料  ところバス利用案内  平成 30 年度第 1 回会議 会議録</p>
<p>担 当 部 課 名</p>	<p>経営企画部：平田部長、林次長  企画総務課：内野課長、山屋室長、緑川主査、武市主任  市民部交通安全課：田中課長、盛清主査  【事務局】：経営企画部 企画総務課  電話 04-2998-9046</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
企画総務課	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議成立の報告</li> <li>・ 条例第 7 条に基づく出席者の報告</li> <li>・ 会長あいさつ</li> <li>・ 会議の公開の確認</li> <li>・ 傍聴希望者の確認 ※傍聴者 3 名</li> <li>・ 配布資料の確認</li> </ul> <p>2 議事</p> <p>以下、尾崎会長が議長となり進行</p> <p>(1) 所沢市の地域公共交通施策について</p>
議長	<p>前回の会議では、ところバスの見直しについての議論や過年度実績の報告を行った。今回の会議は、今年度の新たな市の取り組みについて報告をいただき、委員のみなさまには、今後の取り組みに向けてアドバイスをいただきたい。</p>
事務局	<p>※資料 1 をもとに、所沢市の地域公共交通施策について説明</p>
議長	<p>三ヶ島地区との協働は 12 月から始めたということであるが、進捗状況はいかがか。</p>
事務局	<p>地域の方と話し合いを始めたところであるが、地域公共交通を地域の課題として認識していただいております、協働として手ごたえを感じている。</p>
委員	<p>小手指駅から早稲田大学までの区間や入間市との市境は、路線バスが頻繁に通っている。ところバスを駅ではなく、路線バスの停留所につなげる方法もあるのではないかと。</p>
事務局	<p>駅に限らず、既存のバス停につなげる方法も検討する必要があると</p>

	<p>思っている。また、入間市のコミュニティバス等との接続も地域と協議しながら検討したい。</p>
委員	<p>地域公共交通に鉄道は含まれないのか。</p>
議長	<p>地域公共交通に鉄道も含まれる。今は答申を受けて、地域の足をどうするかをメインで議論しているが、今後は鉄道についても議論する可能性はある。</p>
委員	<p>買い物や通院などの地域の利用目的を参考にしながら、区域に捉われずに検討することが必要だと感じた。</p>
委員	<p>ところバスに年間1億4千万円の経費がかかっている中、利用料金をあげたいのか、利用者を増やしたいのか、議論の目的を教えてください。</p>
事務局	<p>ところバスは平成10年に交通空白地域の解消を目的に導入され、今後も継続的に運行するためには、経費を削減していかななくてはならないと思っている。そのためにも、地域のニーズを把握しながらところバスの再編と新しい交通手段の導入を行いたいと考えている。</p>
委員	<p>ところバスについては、これまでも議論してきており、今回の会議の目的を明確にしてほしい。</p>
事務局	<p>今回の会議は、ところバスを含めた地域公共交通の検討にあたり、地域の声を聴くためにモデルケースとして三ヶ島地区と協働を始めたことについて、報告をするものです。何か疑問点やご意見があれば、お伺いしたい。</p>
委員	<p>地域の声を聴くのは、ところバスを発足する時に必要なのではないか。</p>
事務局	<p>発足時やこれまでの見直しの際にも市民の要望を聴き、できる限り要望に沿えるように取り組んできた。その結果、コースが長くなったり、十分な便数を運行することができないこともあった。これが</p>

委員	<p>らは、地域の方々と協働しながら公共交通を再編したいと考えている。</p> <p>今までと違うのは、地域と協働しながら、ところバスの再編と小型車両の導入をモデルケースとして試行していくということが良いか。</p>
事務局	<p>その通りである。ところバスに加えて、新たな手法に取り組みたいと考えている。</p>
議長	<p>(2) 新しい交通手段について</p> <p>議事 (2) について説明いただきたい。</p>
事務局	<p>※資料 2 をもとに小型車両を活用した新たな 3 つの交通手段の長所・短所について説明。</p>
議長	<p>何か意見、質問等はあるか。</p>
委員	<p>所沢市の人口規模にあった導入自治体はあるか。また、タクシー補助型デマンド交通に賛成であるが、市と利用者の負担額は調整が必要。利用者がある程度の負担をすることも必要である。</p>
委員	<p>所沢市と同程度の人口規模では、人口 35 万人の川越市は、市の中心部でコミュニティバスを運行しており、今年度から南古谷などの地域にデマンド交通を導入する。人口 34 万人の越谷市はコミュニティバスやデマンド交通は導入していない。人口 24 万 9 千人の草加市は、コミュニティバスを運行しており、県内でトップクラスの利用率で、収支率も高い。また、さいたま市の岩槻区でコミュニティタクシーを運行しており、トリガー方式により収支目標を設定し、利用を促進している。</p>
委員	<p>定時・定路線型乗合タクシーについて、資料 2 にタクシー事業者が資格を取得する必要があると記載されているが、西武バスが資格を取得することはできないのか。</p>

委員	<p>タクシー事業はグループ会社の西武ハイヤーが実施しており、今の段階で西武バスが乗合タクシー事業に参入することは考えていない。西武グループとして参入する場合は、西武ハイヤーが資格を取得し、実施する可能性はある。以前に、入間市で乗合タクシーを導入する際に、一度検討を行ったが見送った経緯がある。</p>
委員	<p>デマンド交通の導入にあたっては、路線バスやところバスの利用者を奪うことになる可能性があるため、導入地域や類型を限定しておく必要がある。</p>
委員	<p>タクシーの割り勘制度はできないのか。</p>
議長	<p>乗合型デマンド交通に近いが、導入自治体によると、実際に乗り合って利用するケースは少ないと聞いている。様々な手法があり、他の自治体なども参考にしながら、手法を選択する必要がある。</p>
委員	<p>乗合型デマンド交通は、乗合率が低く収支率も低い市町村がほとんどである。また、乗合タクシー事業をバス事業者が実施する場合、タクシーとバスでは運転手の所有している資格が異なるため、タクシー事業者に委託するよりも経費が高くなる。</p>
委員	<p>様々な規制があると思うが、福祉施設等で日中に使用していない送迎車両と運転手を活用することができれば良いと思う。</p>
事務局	<p>タクシー事業者以外が有償で運行することは原則できないが、市内でも地域のボランティアという形で福祉施設の送迎車両を活用している動きはある。</p>
委員	<p>埼玉県乗用自動車協会として、タクシー補助型デマンド交通に賛成である。理由は現在の資格で実施でき、かつ市内タクシー事業者が均等に実施することができる。なお、さいたま市では交通空白地域の5つの地域で定時・定路線型乗合タクシーを実証実験として実施しており、収支率の目標値を40パーセントに設定している。行政と地域が協力して利用を促進し、目標値を維持しないと本格導入は行わないようである。</p>

委員	銀座通りなど、ところバスが頻繁に通る地域もある。運行コースについては、地域と話し合いながら、どのような手法が適用できるか、どのように利用促進をしていくのかを検討するべきではないか。
事務局	<p>今後は地域の声を聴きながら取り組み、その結果を分かりやすい形で報告していく。</p> <p>(3) その他について</p>
議長	議事 (3) その他について何かあるか。
事務局	※今年度を実施する市内 2,000 人を対象とした地域公共交通に係るアンケートについて、資料 3 に基づきダイアプラン公共交通部会の活動について報告
交通安全課	※資料に基づき 10 月に行ったところバスの見直しについて報告
委員	ところバスの経費の公表について、内容を見直す際には、バスの運転手が不足している厳しい現状があり、バスが撤退しないためにも利用を促進するような内容を加えていただきたい。
委員	ところバスの砂川堀の停留所が汚れていて、吹きさらしになっている。ところバスの利用者は年齢層が高いため、バス停に屋根をつけるなど、配慮してほしい。
議長	乗降時の安全性を確保するため、点検を行うことも必要である。 以上で議事を終了する。
企画総務課	以上で平成 30 年度第 2 回 所沢市地域公共交通会議を終了する。
	閉会